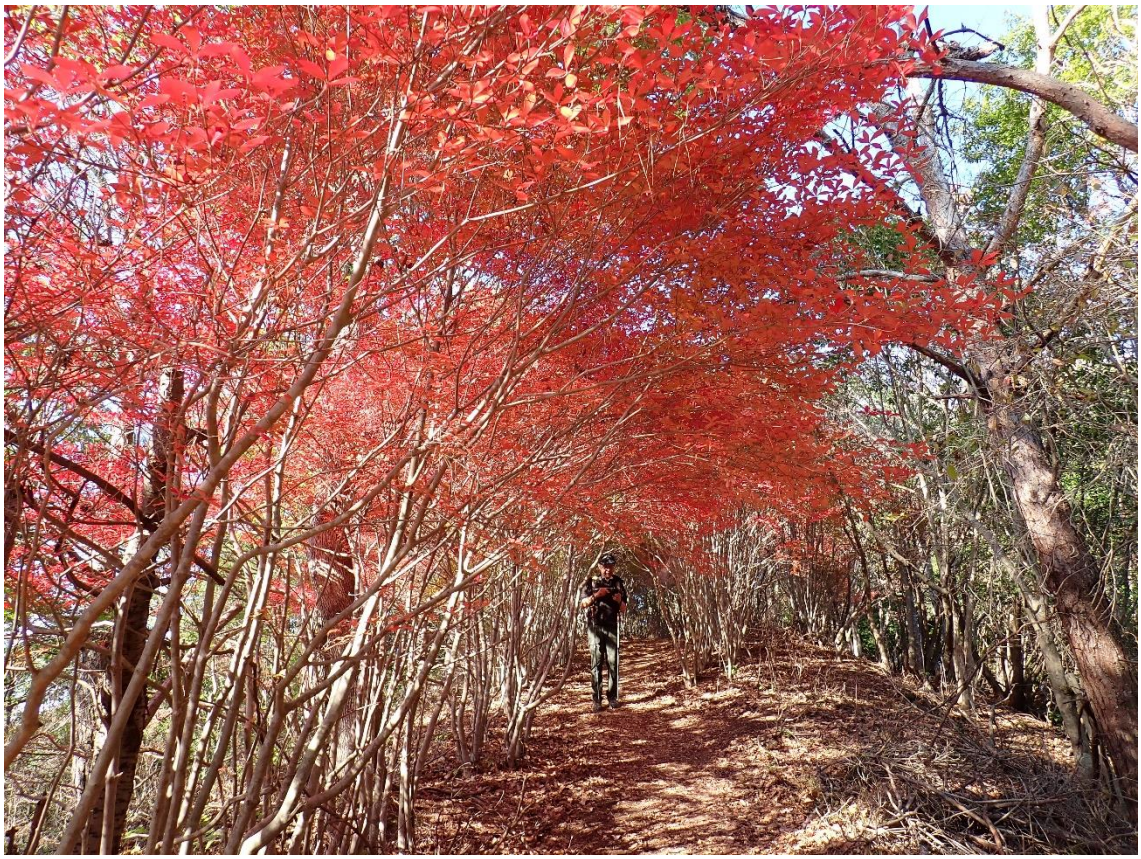
岩石山（がんじゃくさん）

福岡県　田川郡添田町　　2023年　11月21日

添田町の歴史を物語る山



赤く染まったドウダンツツジのトンネル

今回は急登の滝コースから山頂を目指し、中央コースでゆっくり周回しました。

本日のコース　＜全行程　4時間04分＞

添田公園駐車場　10:15　→　滝コース登山口　10:26　→　人面岩　10:41　→
岩石山霊場三ノ滝お通夜堂　10:45　→　針の耳　11:12　→　天狗岩　11:37　→
岩石山山頂　11:45（昼食休憩）12:21　→　国見岩・梵字岩・獅子岩　12:25　→
八畳岩　12:37　→　岩石山山頂　12:51(通過)　＜中央コースで下山＞　→
本丸跡　12:52　→　奥の院（常連登山者の休憩所＆展望所）　13:05　→
展望台　13:43　→　ドウダンツツジのトンネル　13:47　→　岩石城　14:01　→
ふれあいの館　14:07　→　添田神社天満宮　14:14　→　添田公園駐車場　14:19

添田公園駐車場　10:15　平日なのに車は多い
今日は滝コースで山頂を目指すのだが、どこが登山口？と探すことに・・・(笑)

添田神社天満宮を正面にして左側の道路を進む。　10:21　赤い鳥居が目印となる。

登山口表示を探しながら５分ほど民家の中を歩いて行く。すると道路の右側に・・・。

アスファルト上に「登山口の文字と矢印」を発見！　10:26　滝コース登山口への道だ。

滝コース登山口　10:26　橋のすぐ右横に登山口表記を見つけた。
橋を渡ると道は更に細くなる。

民家をすり抜けると森に突入！　10:30　ここからが滝コース本番だ！

この表示を見て安心して進む

滝コースを進むと小さな川を渡ることになる　10:38　白い柵が目印
滝はこの先にあるのだろうか？

小さな小屋があるぞ！　10:39　よく見るとそれはお社(やしろ)だった

お社(やしろ)の中には弘法大師等が祀られていた　10:40　お掃除が行き届いている
山中なのにお世話をされている地域の方に頭が下がります。

＜弘法大使とは＞

弘法大師とは、**平安時代初期の僧で、空海と同一人物**です。密教を学ぶために中国に渡り、真言宗という宗派を開きました。仏教を広めることに力を尽くし、高野山に金剛峯寺を開いたり、京都の五重塔を造ったりしました。また、庶民のための学校設立や池の修築などにも携わり、書の名手としても知られています。(ネット引用)

お社（やしろ）の先にまたお社が・・・　10：42　このお社の扉は閉まっていた
ここで、足元に「人面岩を見る位置」と書かれた説明板を見つけた。

「なんじゃこりゃ～」と、ここに立って辺りを見渡した　10：43

人面岩　10:41　どうやらこれが人面岩のようだが・・・。

今度は大きな小屋だ！　10:44　あれは作業小屋か？
斜度が幾分急になってきた。

岩石山霊場三ノ滝お通夜堂　10:45　このお社(やしろ)にも弘法大師が祀られている。
修行で籠る場所らしいが、今でも籠る人がいるのだろうか？

俺に

三ノ滝　10:46　お通夜堂の正面に三ノ滝があったが、岩壁が少し濡れているだけだった。
それにしてもT師匠の後姿は、にっぽん百低山(NHK)の「吉田類」に益々似てきたようだ。

三ノ滝からは折り返して急な石段を上っていく　10:47　ここから本格的な急登

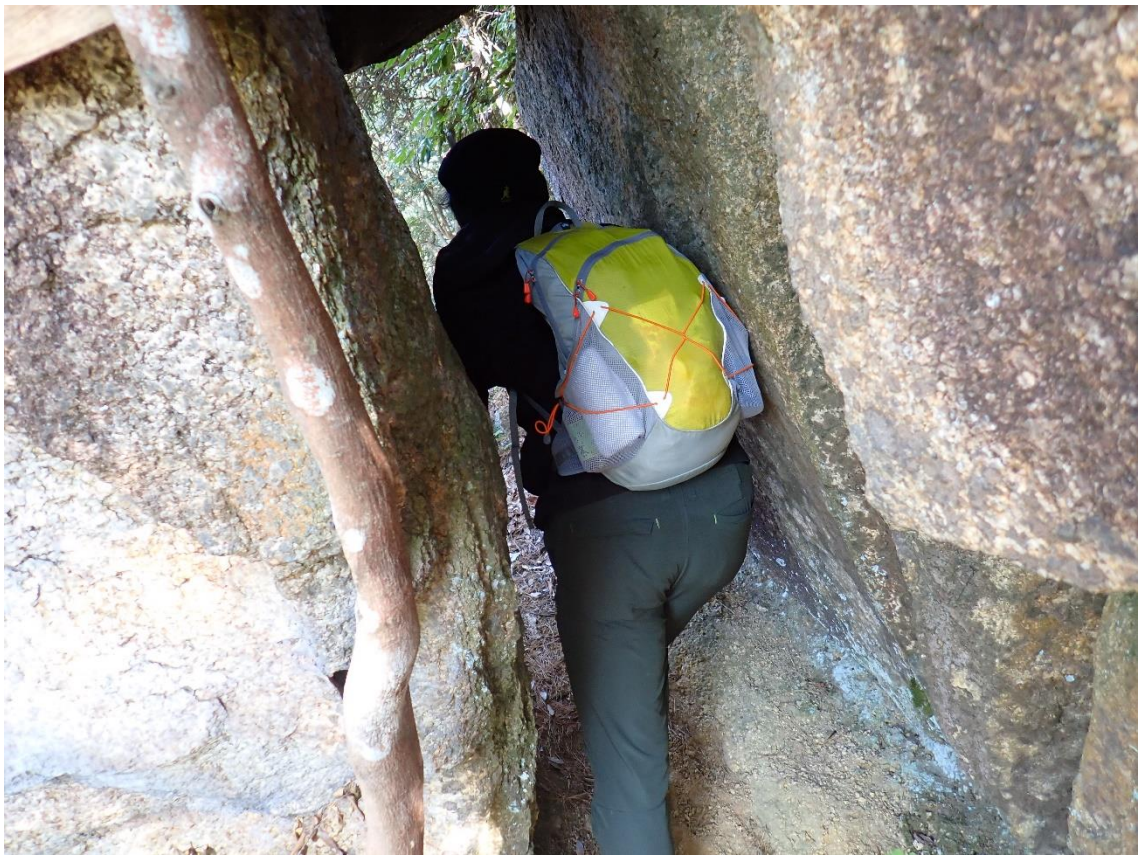
急登に喘ぎながら寡黙に一歩一歩　10:53　落ち葉で滑るので注意！

「一の滝」の表示を見つけたが、ヘタレな我々はパスして進む　11:09

急登は続く

迂回路の表示が現れた　11:11　子供と高齢は迂回路へと促している
高齢者の我々は勿論迂回路へ進みました

針の耳　11:12　迂回路を進むと正面に岩穴が見えてきた。
このまま進みこの岩穴を通り過ぎると、先程の迂回路表示の地点に戻ることになる。
「おかしいなぁ～」と岩穴の手前を探すと、山頂への道を見落としていた。



針の耳を通過できるかどうかメタボ検査に挑戦！　T師匠ギリギリセーフ(笑)

針の耳で遊んだ後、今度は急登に遊んでもらう。　11:21　フウフウ･･･ハアハア･･･
急登には随所にロープが垂らしてある。段差の大きい場所は大助かり。

西尾根コースとの合流点　11:30　看板は下山する登山者に向けての注意書きだった。「滝コースは急勾配のため小さな子供さま連れの方は、西尾根を下山された方が無難です。同じ登山口に出ます。」と書かれていた。そう言えば滝コースに取りついた時に、左に西尾根コースの標識があったのを思い出した。

ここから先は道が緩やかになった。

山頂まであと110m の標識　11:35

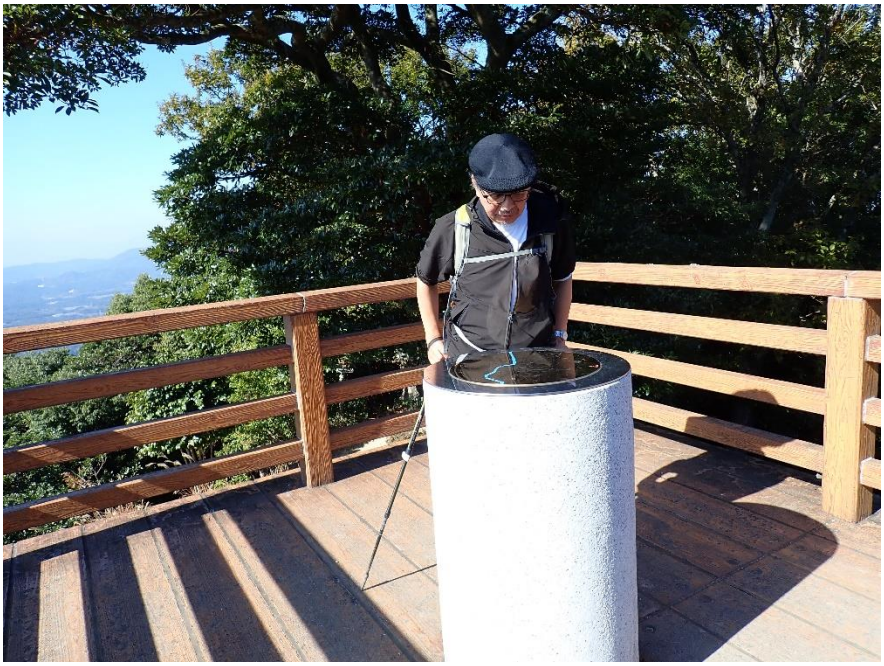
天狗岩　11:37　天狗を連想して岩を観察するがよくわからない
少し休憩して進む

山頂への分岐　11時４０分　あと 70m

岩石山山頂　11:45（昼食休憩）　駐車場から１時間半だった
山頂には立派な休憩所兼展望台が建てられている。
登頂した際に昼食中の登山者から、「滝コースから上ってきたから鹿がいたでしょう？」と声を掛けられた。「いや～見ませんでした」と返答すると、「私はいつも鹿を見るよ」と言っていた。

T師匠（右）と登頂記念撮影　　454m

さっそく展望台へ



360度方位版を見て、T師匠の山塾が開講。
T師匠は方位版に記載されている山々を全て制覇されているようだった。

展望台下の休憩所でおにぎりを食べて出発！　12:21　目指すは国見岩
山頂からすぐ下った所に国見岩があるので見に行くことにした。

国見岩・梵字岩・獅子岩　12:25
馬場跡を通り抜けると少し開けたところに出た。そこは巨岩、奇岩の立ち並ぶ展望台だった。

国見岩･梵字岩･獅子岩の説明標識

国見岩（獅子岩･梵字岩）

国見岩を回り込むと絶景が広がる　12:27　少しスリリング

梵字岩(この赤い文字の意味は？いつ？何のために掘られたのか？)
頭の中は？？？だらけ。

巨大な梵字岩（中央より少し上に➡梵字が彫られている）

大砲岩（突き出ている形からそう呼ばれているのだろう）

大砲岩からのパノラマ（少し霞んでいたが福智山等の山並みが見えた）

大砲岩からすぐ下にある八畳岩を見下ろす！　12:35　行ってみよう！

八畳岩　12:37　ここは絶好の休憩場所だ！
巨岩、奇岩からの絶景を楽しんだ後、下山の為に再度頂上を目指す。

岩石山山頂　12:51　通過して中央コースで下山

山頂正面から中央コースへ進む

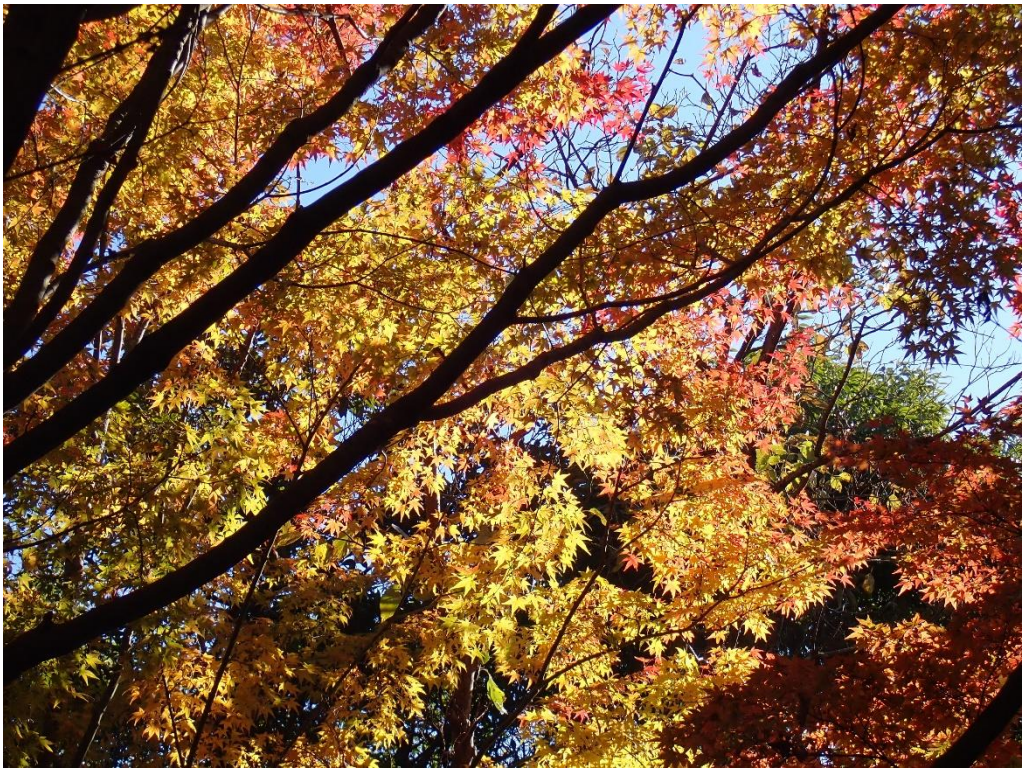
平清盛が城を築き、地方豪族たちが奪い合い、天下の秀吉に攻められ、
剣豪・佐々木小次郎の出生地と噂される山・・・。

その名は「岩石山」

岩石山は福岡県添田町の北端、東側の赤村と接する標高454mの山です。かつては英彦山信仰圏の領域で、山伏たちの修行場として栄えた山でした。また山頂には中世の山城・岩石城が築かれ、一国一城令で廃城になるまで、多くの城主が入れ替わりました。麓には城下町も形成され、日田道（旧小倉街道）沿いには、白壁の商家・中島家住宅（国指定重要文化財）などの街並みがあり、歴史的に見ても価値の高い地域とされています。

添田公園から岩石山にかけては、毎日のように周辺の自然散策に出かける常連も少なくありません。登山道もよく整備され、山頂には岩石城跡の遺構や巨石群、そしてなにより山頂からの眺望の良さと四季折々の自然景観で、訪れる人を魅了しています。添田公園から山頂まで歩いて一時間ほどで登れる手軽さと見どころの多い山として、一度登ればまた何度でも来たくなる魅力あふれる山なのです。　（ネット引用）

本丸跡　12:52　紅葉が広がっていた



紅葉は少し色褪せていたが、まだまだ綺麗。

N氏とバッタリ遭遇

本丸の紅葉を堪能して下っていくと、T師匠が誰かと出会って話し込んでいた。　12:56
その人は以前私自身もお世話になったN氏だった。久しぶりなので本当に驚いた。
N氏は九州の山を知り尽くしたオーソリティー。元気で活躍されているご様子でした。

この小屋はトイレだった！　13:04　常連さんが管理しているのだろうか？

奥の院　13:05　岩石山の麓にある白山神社の奥の院

常連登山者の休憩所（立派なドーム型テント）
常連登山者の中には、岩石山登頂2万回を達成した女性がいるそうだ！
単純計算で20000回÷365日＝54．7年（驚愕）

常連さんのドーム型テント前の展望所から下界を望む

白山宮の鳥居を潜って下山再開　13:08

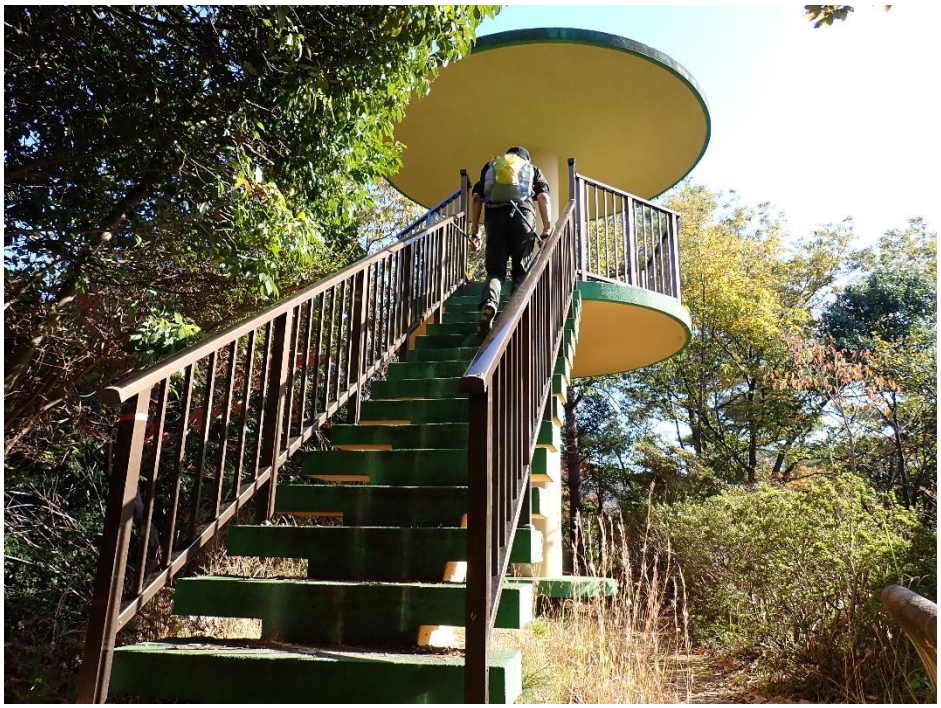
二の滝・乙女岩への分岐　13:27　通過して下山続行

ザラつく登山道を慎重に下る　13:33

車道に飛び出した　13:40 車道に出て➡赤いセーフティーコーンまで20mほど歩くと･･･

車道から登山道に入る　13:41　➡展望台への道標がある

進んでいくと「展望台・ドウダンツツジトンネル」の表示が現れた。　13:42



展望台　13:43　「何が見えるのかなぁ～」と期待に胸を・・・

展望台から見上げると堂々とした岩石山の全容　13:44　標高は454m

展望台から添田町を見下ろす　13:44

展望台の次はドウダンツツジだ！

ドウダンツツジのトンネルで気分が上がる　13:47

次は岩石城を見て歴史に触れてみよう！

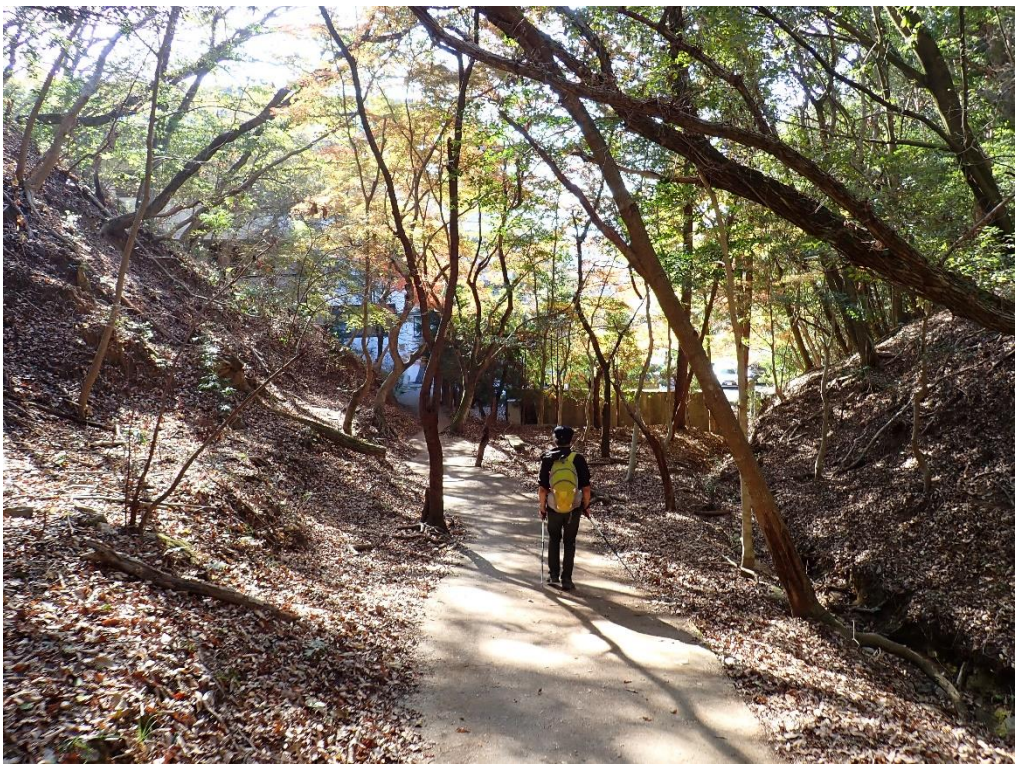
綺麗に色付いた紅葉の木　13:59

真っ赤でお見事！

岩石城（がんじゃくじょう） 1158 年～1615 年　　14：01

岩石城は**平清盛**が大宰大弐であった頃に**大庭平三景親**に築かせたと伝わる城です。
菊池氏、大友氏、大内氏、秋月氏などにより争奪されましたが、1587 年（天正 15 年）4 月の**豊臣秀吉**による**九州征伐**では**前田利長・蒲生氏郷**が攻め寄せてわずか一日で落城させています。その後は小倉城の付城として存続し、1615 年（元和元年）の「元和の一国一城令」により廃城となりました。
現在城址には連続堀切や大堀切のほか、本丸跡周辺には石垣も残っています。また山麓には模擬天守（添田美術館）が建築され、3 階は展望所として公開されています。　（ネット調べ）

歴史に触れた後は道なりに下る



ふれあいの館　そえだジョイ　14:07　ここでお風呂に入ることも出来る

添田神社天満宮　14:14　広い境内を岩石山の余韻に浸りボチボチ歩く

添田公園駐車場　14:19　無事にゴール

4時間04分の山歩きが無事に終了。
岩石山は興味深い山でした。

スマホの歩数計は10099歩。T師匠お世話になりました。
お疲れ様でした。